

第3章 情報化施策

第2章に示した情報化推進のための5つの基本的目標のもと、次の施策体系に沿った具体的な取組を進めます。

施策体系表

目標	施策分野	施策項目	所管部局
ITを活用した豊かな社会づくり	福祉・医療分野へのIT活用	電子カルテ、遠隔医療と保健・医療情報提供	健康福祉部
		福祉分野におけるネットワークの活用	健康福祉部
	学術・文化分野へのIT活用	地域文化資産のデジタル化・データベース化の推進	県民生活部
		芸術文化情報システムの充実・強化	県民生活部
		蔵書検索システムの充実・強化	県民生活部
	環境情報共有化の推進	生涯学習情報システムの整備	教育委員会
		環境情報システムの構築	環境部
	防災・安全分野へのIT活用	環境情報の提供、環境教育の推進	環境部
		防災情報システムの整備・推進	県民生活部
		ITの活用による交通安全の推進	県警本部
	観光情報の発信	ネットワーク社会の安全性・信頼性の確保	県警本部
ITSの推進	観光情報の発信	産業労働部	
	地域課題に対応したITSの推進	企画振興部	
	大規模プロジェクトを契機としたITSの推進	企画振興部・建設部	
電子地方政府の構築	県民サービスの向上	2004年ITS世界会議の開催	企画振興部
		申請・届出等手続の電子化	総務部
		公共施設の案内予約の電子化	企画振興部
		調達手続の電子化	農林水産部・建設部・出納事務局・企業庁
		CALS / ECの導入	農林水産部・建設部・企業庁
		歳入歳出の電子化・税申告の電子化	総務部・出納事務局
	情報発信と県民の行政参画	統合型GISの整備	企画振興部
		使いやすい魅力あるホームページづくり	企画振興部
	行政運営の簡素・効率化と業務改革	情報公開・行政参画への活用	県民生活部
		職員ポータルサイトの構築	企画振興部
		職員の情報共有・活用	企画振興部
総務文書管理システムの整備		総務部	
電子地方政府の基盤の構築	庶務系事務の電子化	総務部・企画振興部	
	業務システムの見直し	総務部・企画振興部を中心に全部局	
	情報通信基盤の整備・拡充	企画振興部	
	総合行政ネットワークの整備	企画振興部	
	住民基本台帳ネットワークシステムの整備	総務部・企画振興部	
	情報セキュリティの確保	企画振興部	
ITの活用による産業の活性化	情報通信産業の振興・新産業の育成	インターネット上の認証基盤の整備	総務部・企画振興部
		市町村との連携の強化	総務部・企画振興部
		職員の情報リテラシーの向上	企画振興部
	情報通信産業の振興・新産業の育成	情報通信産業の振興	企画振興部・産業労働部
		情報系ベンチャー企業の育成・新ビジネス展開の促進	企画振興部・産業労働部
		人材の育成・確保	企画振興部・産業労働部
	既存産業のIT化	商工業のIT化の促進	産業労働部
		農林水産業のIT化の促進	農林水産部
	すべての県民がITを活用できる社会の実現	学校における情報教育の推進	教育委員会
		社会人を対象とした情報化教育の推進	企画振興部・県民生活部・産業労働部・教育委員会
		情報バリアフリー環境の整備	企画振興部・健康福祉部
高度な情報通信環境の整備	地理的な情報格差の是正	企画振興部	
	モバイル通信の活用	企画振興部	
	IX(インターネットエクステンジ)機能の強化	企画振興部	

§ 1 県民生活分野における IT 活用

福祉・医療、学術・文化、環境などの県民生活分野において、積極的に IT を活用し、多様な住民サービスを提供するなど、豊かな社会づくりに努めます。

- 1 福祉・医療分野への IT 活用
 - ・ 電子カルテ、遠隔医療と保健・医療情報提供
 - ・ 福祉分野におけるネットワークの活用
- 2 学術・文化分野への IT 活用
 - ・ 地域文化資産のデジタル化・データベース化の推進
 - ・ 芸術文化情報システムの充実・強化
 - ・ 蔵書検索システムの充実・強化
 - ・ 生涯学習情報システムの整備
- 3 環境情報共有化の推進
 - ・ 環境情報システムの構築
 - ・ 環境情報の提供、環境教育の推進
- 4 防災・安全分野への IT 活用
 - ・ 防災情報システムの整備・推進
 - ・ IT の活用による交通安全の推進
 - ・ ネットワーク社会の安全性・信頼性の確保
- 5 観光情報の発信
- 6 ITS の推進
 - ・ 地域課題に対応した ITS の推進
 - ・ 大規模プロジェクトを契機とした ITS の推進
 - ・ 2004 年 ITS 世界会議の開催

1 福祉・医療分野へのIT活用

(1) 電子カルテ、遠隔医療と保健医療情報提供

< 目 標 >

地域医療ネットワーク推進の中核をなす医療機関への*電子カルテの普及を図るとともに、国の動向を見極めながら、県立病院においても、それらのシステムの整備を検討します。また、ITを活用した保健医療情報の提供の拡充や、へき地医療の充実を図ります。

【現状と課題】

診療録等については、平成11年度から電子媒体による保存が法律上可能となったため、一部の医療機関において電子カルテ等の導入が進んでいます。また、国では医療用語等の医療情報を標準化するなどの環境整備に取り組むとともに、平成13年12月にとりまとめられた「保健医療分野の情報化にむけてのグランドデザイン」を踏まえ、平成18年度までに病院(400床以上)、診療所の6割以上に電子カルテを普及させるという目標を定めており、県ではその推進を支援、協力しています。

インターネットによる保健医療情報の提供については、現在、県の各機関や医師会に代表される民間の各機関等がそれぞれのホームページにより行っています。

一方、X線画像等の医療画像情報については、医療機関間で画像を伝送し、診断を支援することが可能となっています。県では、県内のへき地医療拠点病院、へき地診療所に静止画像伝送装置を設置した「へき地医療支援システム」を整備し、へき地医療の支援を行っています。

さらに、県立病院においては、患者サービスの向上ならびに医療事務の効率化のため、医事電算システムなどの内部システムを整備し、その有効活用を図っています。また、がんセンターでは、全国の主要ながん診療施設を結ぶ「がん診療情報ネットワークシステム」を介して、医療に関する情報交換・情報収集を行うなど、適正な医療の提供や研究に努めています。

【施策の展開】

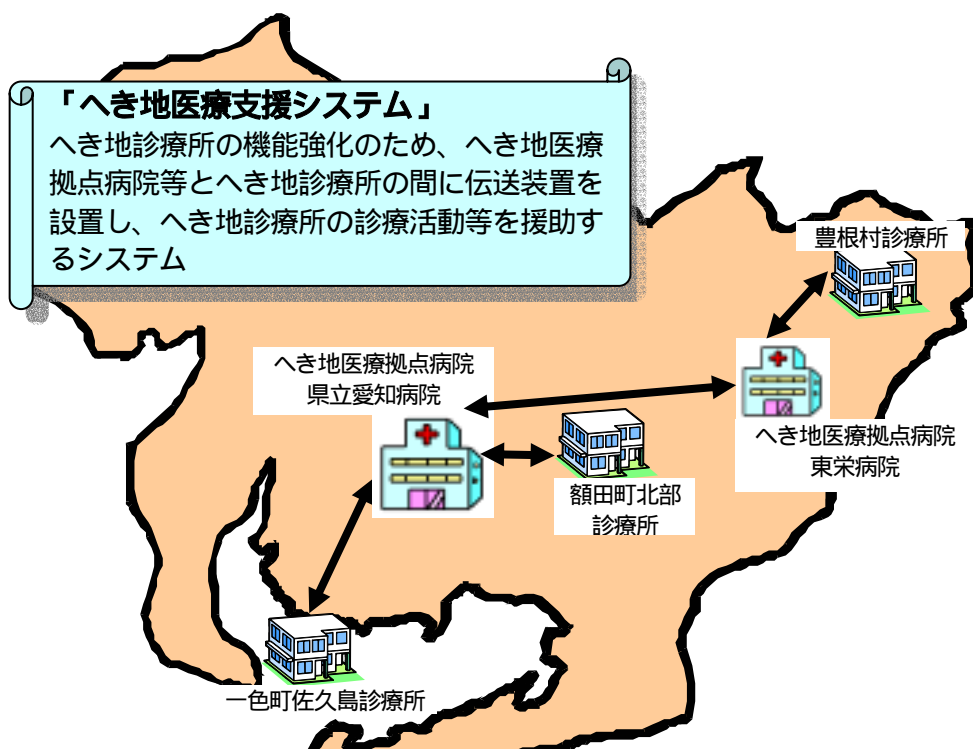
地域医療ネットワーク推進の中核をなす医療機関への電子カルテの普及を図り、質の高い医療サービスの提供と医療の効率化を図ります。

国の医療制度改革大綱に基づく医療情報技術(IT)化推進計画の中で、電子カルテの導入や診療報酬の電子化の普及達成目標が示されたことから、今後、県立病院においても、国の動向を見極めながら、それらのシステムの整備を検討し、医療業務の合理化と医療の質的向上を目指します。

インターネットなどITを活用して適切な保健医療情報を提供することにより、医療機関等利用者の利便性の向上や医療機関の連携、さらには、資源の効率的な活用などを図ります。

国の動向を踏まえ、遠隔医療の推進に向け検討していくとともに、へき地住民に対する医療供給体制の充実を図るため、へき地医療支援システムを活用していきます。

愛知県へき地医療支援システム関係図



- 静止画像伝送装置の機能**
- ・患者画像フィルム等の静止画像の取り込み
 - ・静止画像、医療情報の伝送
 - ・画像読影、診断のための画像表示
 - ・リアルタイムに症例検討を行うためのテレビ会議及び同時画像表示
 - ・異なる時間に接続を行っても情報交換が可能
 - ・静止画像、医療情報の保存管理

【スケジュール】

項目	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
電子カルテの普及		普及			
保健医療情報の提供体制		順次拡充			
へき地医療支援システム		活用			

(2) 福祉分野におけるネットワークの活用

< 目 標 >

福祉分野においては、介護保険制度の導入など、利用者がサービスを選択できる制度への移行が進んでおり、それに伴ってサービスの内容やサービス供給主体が多様化しています。そのような中、利用者が最適なサービスを選択できるようにするとともに、利用者と供給者を結ぶコーディネート機関(*ケアマネージャー)が十分に役割を果たすことができるよう、インターネットを活用した情報提供の拡充を図ります。

【現状と課題】

社会福祉・医療事業団は、全国の介護サービスの状況及び福祉施設、医療機関の情報提供を行うWAMNETを開設し、国の福祉施策、市町村毎に整理された介護保険を活用できる事業所等の情報提供を行っています。

県では、平成12年度に気軽に子育てに関する相談ができる「子ども相談ホームページ」を愛知県中央児童・障害者相談センターに開設し、24時間の相談受付体制を整備しました。

【施策の展開】

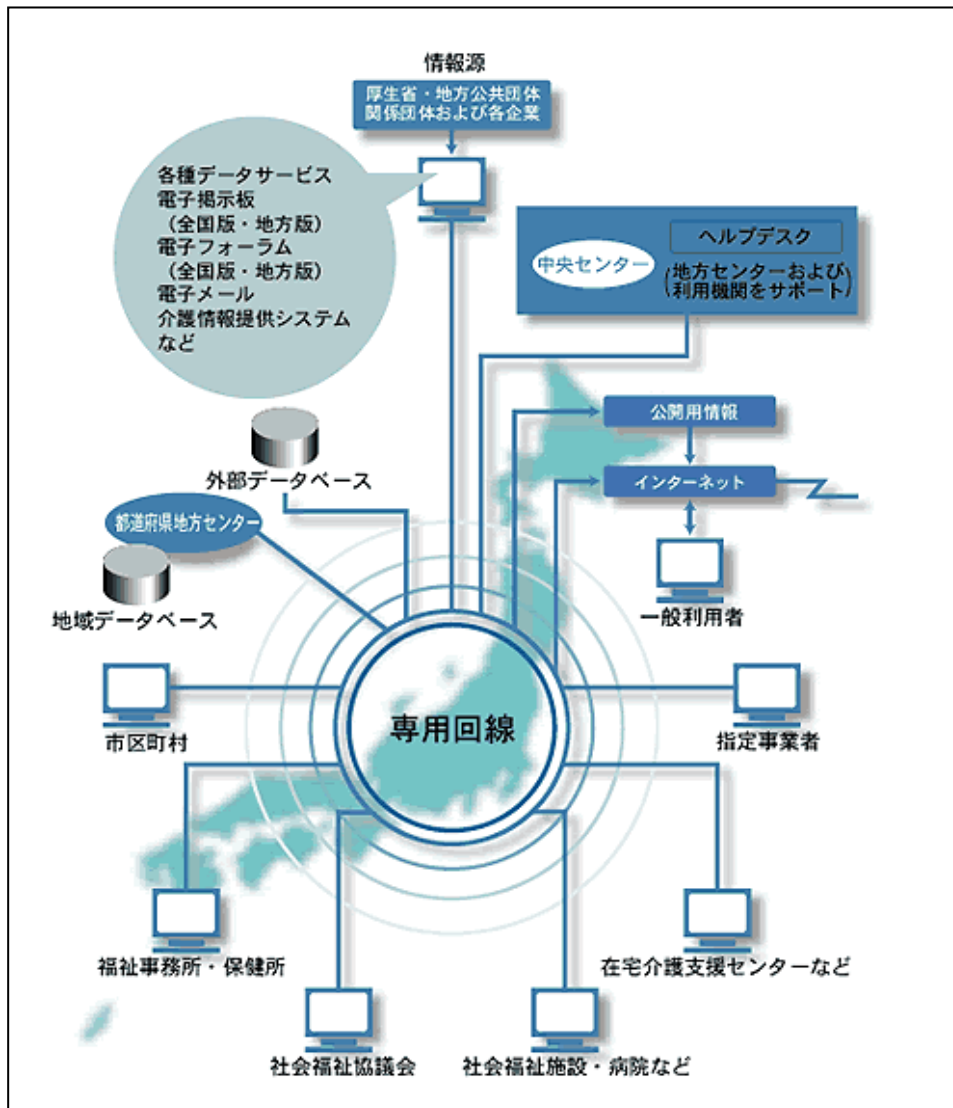
高齢者の介護サービスについては、利用者やケアマネージャーが必要な情報を入手できるよう、WAMNETの有効利用を図ります。

平成15年度から始まる障害者福祉サービスの支援費制度において、県が指定した事業者及び施設に関する情報を、障害者等が容易に得られるよう、WAMNETの活用を図ります。

子育てや障害者の自立など福祉に関する問題について、県民がインターネットを活用して気軽に相談できる環境を整えます。

福祉関係団体とも協力しながらインターネットを活用した福祉情報提供の充実を図ります。

ワムネットへの接続概念図



【スケジュール】

項目	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
WAMNETの有効利用		活用の拡充	障害者福祉サービスの支援費制度への活用		
子育て、障害者支援のためのインターネット環境の整備		環境の整備			
福祉サービス実施機関のインターネットによる情報提供		情報の拡充			

2 学術・文化分野へのIT活用

(1) 地域文化資産のデジタル化・データベース化の推進

<目 標>

県内の美術館・資料館・図書館などの収蔵品および県内各地における有形・無形の文化財等をデジタル情報として記録・保存し、その情報をデータベース化して蓄積・整備するとともに、インターネット等を利用して情報発信します。

【現状と課題】

美術館・博物館等の収蔵品について、近年、進展が著しいデジタル技術を活用することで、絵画などの美術・芸術作品等を電子的に記録・保存することが注目されており、全国各地で収蔵品のデジタル化とインターネット等を利用した国内外への発信の取組が進められています。

本県においては、愛知県美術館などで著作権の切れている収蔵品のデジタル化を進め、芸術文化情報システムを利用してインターネット上で鑑賞できるようにしていますが、まだ全体的にデジタル化されたものが少なく、近現代美術については、著作権処理の問題があり、今後のデジタル化・データベース化を進めていく上での課題となっています。

また、愛知県陶磁資料館の収蔵品や愛知県図書館の江戸・明治期の古地図や古書などの貴重な所蔵資料についても、デジタル化・データベース化を進め、県民が必要に応じて活用できるようホームページコンテンツの一層の拡充を図っていく必要があります。

一方、県内各地の祭りや民俗芸能、歴史的建造物や街並みなどの伝統的文化資産の中には、その継承が困難になっているものもあり、これらの文化資産の保存が必要となっています。

本県では、昭和61年度より、無形文化財を中心にアナログビデオによる記録・保存を進めていますが、精度が高く再現性に優れたデジタル化への取組が課題になっており、無形民俗文化財等については、動画としても活用できるよう検討する必要があります。

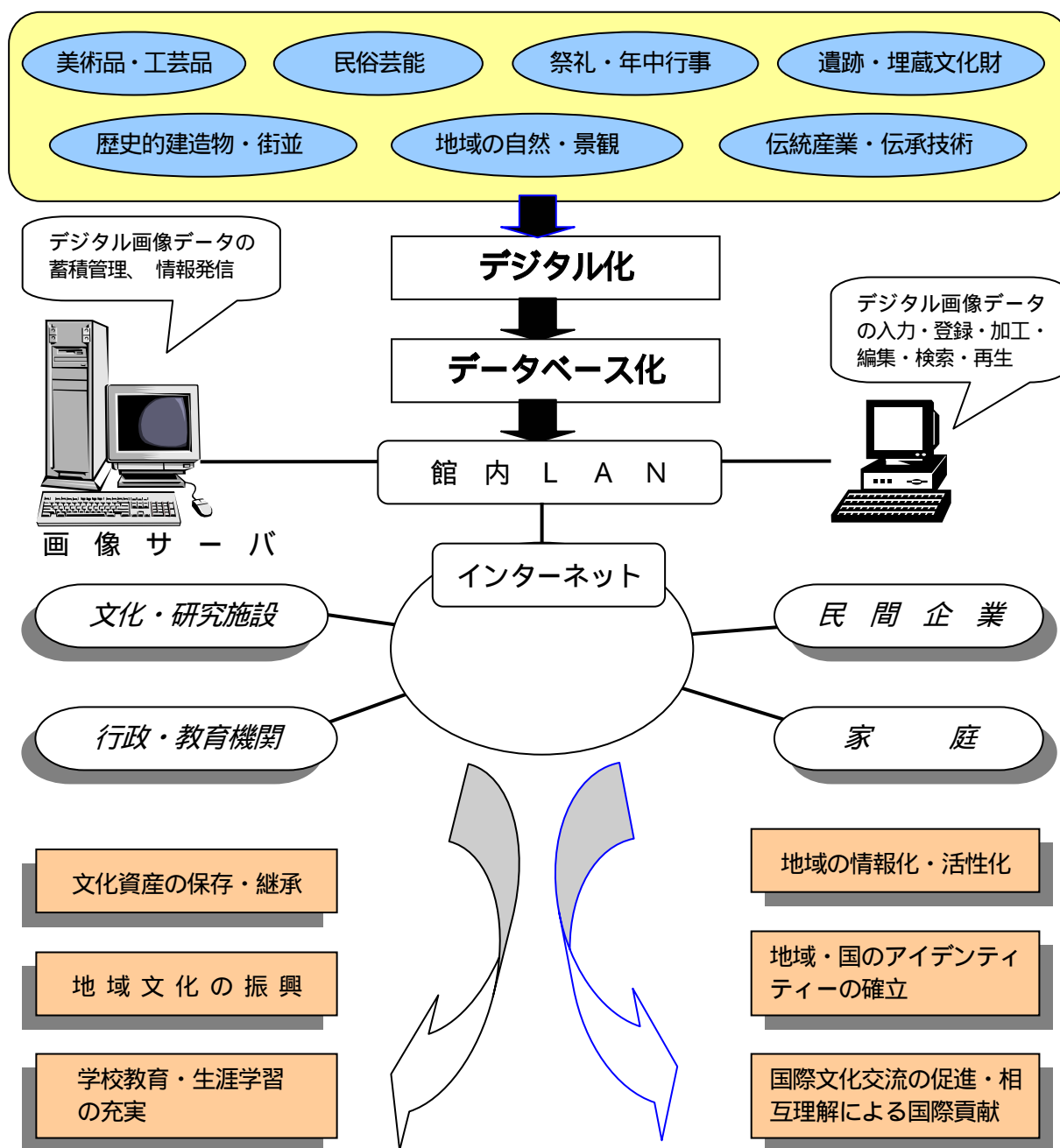
【施策の展開】

愛知県美術館については、デジタル化・データベース化を順次進め、作家・作品のコンテンツの充実を図ります。

愛知県陶磁資料館の収蔵品や愛知県図書館の所蔵資料については、デジタル化・データベース化やホームページ上での公開を検討します。

地域の有形・無形の文化財については、データベース化することにより、インターネット等で自由に検索・閲覧できるよう検討します。

地域文化資産のデジタル化・データベース化のイメージ図



【スケジュール】

項目	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
愛知県美術館の美術作品のデジタル化・データベース化		情報の追加・更新			
愛知県陶磁資料館の陶芸作品、愛知県図書館の所蔵資料、有形・無形文化財のデジタル化・データベース化		検	討		

(2) 芸術文化情報システムの充実・強化

< 目 標 >

平成14年度に愛知芸術文化センターが開館10周年を迎えるにあたり、当地域の芸術文化の総合サイトとして、そのホームページの一層の充実を図るとともに、自主的な事業活動により蓄積されてきた情報のデータベース化などを行い、ITの技術的動向や利用者のニーズに適合した芸術文化情報の発信に努めます。

【現状と課題】

美術、音楽、舞台芸術など当地域の総合的な芸術文化の拠点である愛知芸術文化センターでは、県民の多様化・高度化する芸術文化のニーズに応えるべく芸術文化情報システムを整備し、センター内の各施設(愛知県美術館、愛知県文化情報センター、愛知県芸術劇場)の紹介やイベント情報の提供を行うなど、来館者や館外への情報サービスに取り組んでいます。

また、ホームページにおいて、センター内の情報にとどまらず、広く地域の芸術文化に関する情報を発信するとともに、AAPPAC(アジア太平洋パフォーミングアーツセンター連盟)に加盟する環太平洋地域諸国の芸術文化施設との連携を図るなどしています。

今後、当センターが地域の芸術文化の拠点としての地位を高め、また、共同制作や舞台技術者の交流といった海外との芸術文化の交流を活発化していくためには、情報を活用した一層の機能強化が必要となっています。

【施策の展開】

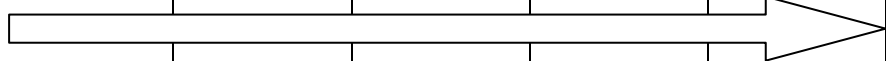
芸術文化の催事情報の発信に努めるなど、芸術文化情報システムの一層の充実を図ります。また、より広い視点で芸術を楽しむように、愛知県文化情報センターの自主企画事業のデータベース化を促進し、商業的には見られない現代芸術を紹介するなど、利用者への一層のサービス向上を図ります。

海外の文化施設等との交流機能を一層強化するため、AAPPAC加盟施設間等の催事企画情報システムの構築などの取組に参画していきます。

芸術文化情報システムの体系(目的別)



【スケジュール】

項 目	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
芸術文化情報システム	ホームページの情報内容の追加・更新、メニューの充実				
					

(3) 蔵書検索システムの充実・強化

< 目 標 >

市町村立図書館や県内外の大学図書館、専門図書館等との連携により、愛知県図書館のホームページ上にある蔵書検索システムの一層の充実を図ります。

【現状と課題】

愛知県図書館では所蔵の図書を検索できる蔵書検索システムを構築しており、平成13年3月から、インターネットによる検索も開始しました。

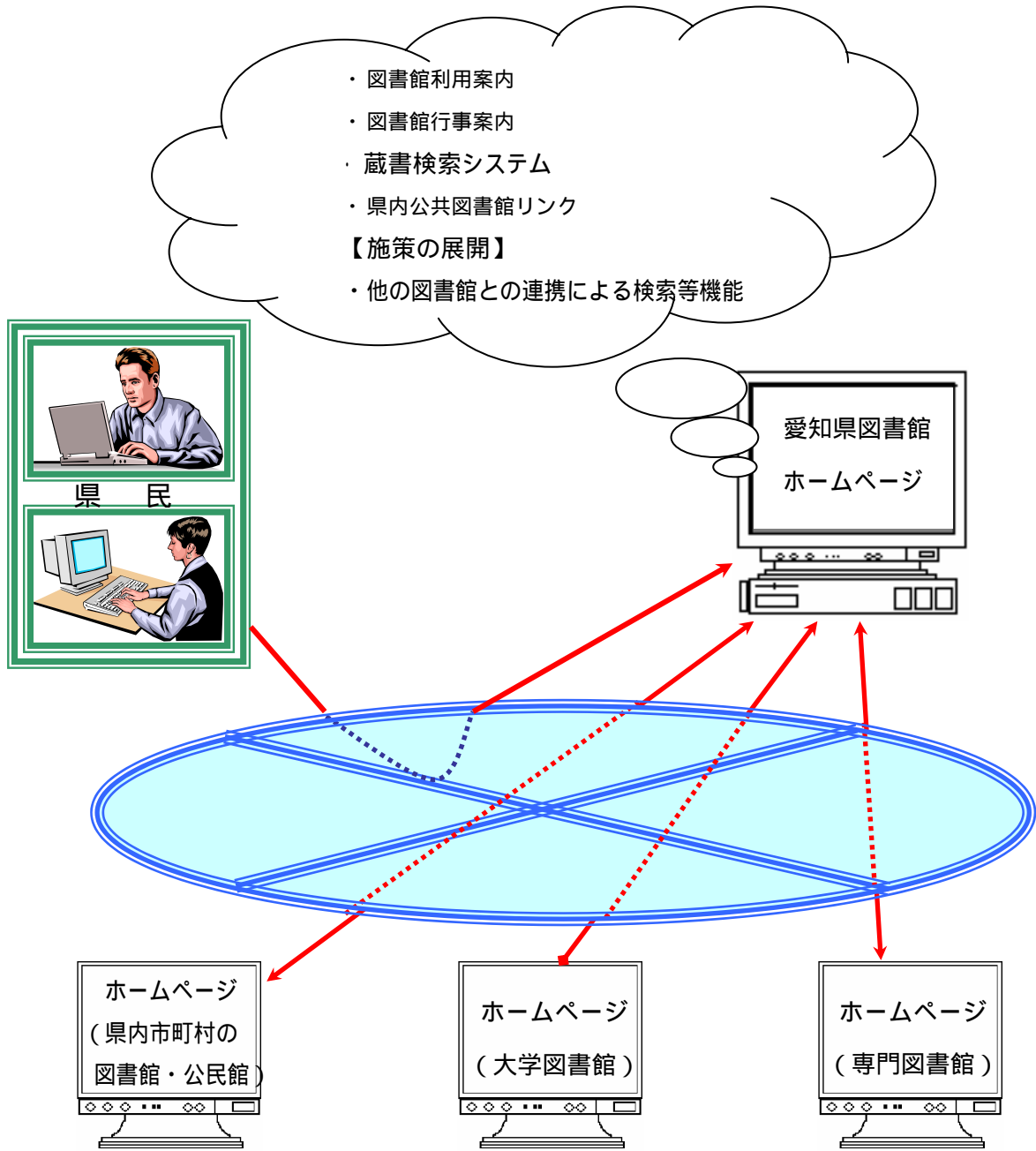
一方、県内市町村立図書館においても、同様に蔵書検索をインターネット上で行う館が増加しており、平成13年度末では10館を超えています。そのため、今後は愛知県図書館だけでなく、県内の市町村立図書館の蔵書についても同時に検索できるようにすることが求められています。

さらに、県民の図書資料要求の高度化、専門化に応えるため、大学図書館や専門図書館等、県内外の図書資料所蔵機関との連携を図る必要があります。

【施策の展開】

- 市町村立図書館、県内外の大学図書館、専門図書館等の図書資料所蔵機関が所蔵する図書や資料を統一的に検索できるようにするため、関係図書館との連携とシステム開発を進めます。

蔵書検索システムの概念図



【スケジュール】

項 目	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
愛知県図書館の蔵書検索システム	随時、所蔵情報の追加・更新				

(4) 生涯学習情報システムの整備

< 目 標 >

生涯学習関連機関・団体が保有する生涯学習の情報をインターネットを通じて県民へ総合的に提供する愛知県生涯学習情報システム「学びネットあいち」を構築します。

【現状と課題】

生涯学習情報の提供は、学習講座の実施機関・団体等が、様々な媒体や方法を活用して個別に行っているため、必要な情報を総合的に提供できる体制となっておらず、県民の多様化・高度化しているニーズに十分対応できていません。いつでもどこでも必要な生涯学習の情報を迅速に得ることができる生涯学習支援体制の整備が課題となっています。

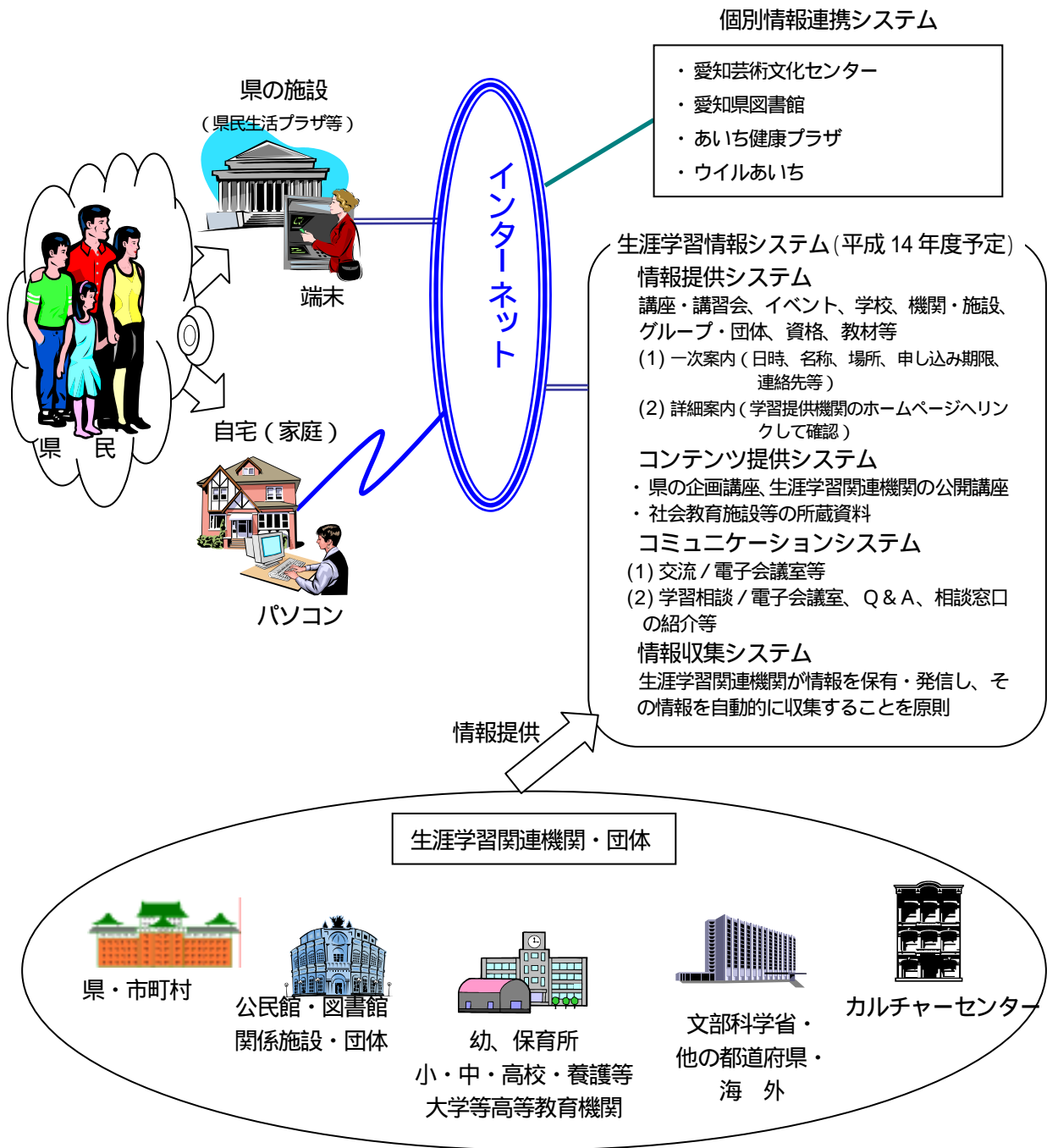
このため、本県では、インターネットを活用した生涯学習情報システムの構築に向け、平成12年度に「愛知県生涯学習情報システム基本計画」を策定し、システム設計を踏まえて、平成13年度にシステム開発、機器整備等を行いました。

【施策の展開】

平成14年度に、「情報提供システム」、「コンテンツ提供システム」、「コミュニケーションシステム」及び「情報収集システム」の4つの機能を備えた愛知県生涯学習情報システム「学びネットあいち」を稼働し、インターネットを通じて広く県民に生涯学習情報を提供していきます。

平成14年度以降も、「学びネットあいち」を県民に活用してもらうため積極的にPRを行うとともに、県民の希望・意見を採り入れながら、提供情報やコンテンツを随時追加・更新し、内容を充実していきます。

「学びネットあいち」概念図



【スケジュール】

項目	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
生涯学習情報システム	システム開発 機器整備	稼動	情報の随時追加・更新		